

グローバル人材育成プログラム に参加して

安永 健人
Taketo YASUNAGA
電子情報学科 3年

1. はじめに

私はこのプログラムに2019年8月16日から9月2日までの17日間参加した。場所はアメリカカリフォルニア州サンフランシスコ及びシリコンバレーである。このプログラムの目的は海外の研修を通じてグローバルな人材とは何かを理解することである。日程としては到着後最初の3日間はIT企業見学ツアー、サンフランシスコの観光が行われた。また海外で活躍している方によるセミナーも行われた。その後2週間はホームステイをしながら企業研修を行った。

2. 志望動機

今回この研修に参加しようと思ったのは2018年度の学外実習報告会で海外実習の報告を聞いたときである。私はこれに参加するまで海外に一度も行ったことがなく海外に行くことに強い憧れがありこの報告会を聞いてより一層行ってみたいという気持ちが大きくなり参加しようと決めた。

3. 目的

今回参加するにあたり私は2つの目的を持って行動しようと考えた。1つ目は自分の英語力が海外で通じるかどうかを知ることで自身の英語力向上につながることである。2つ目は海外での働き方や生活を経験することで日本との文化の違いを理解することである。

4. IT 企業見学・セミナー

4.1 IT 企業見学

この見学では Google, Apple, Oracle, Fitbit などの

海外で注目されている企業を中心に見学をした。ここで印象に残っているのは Oracle と Fitbit で働いている方のお話を聞いたことである。Oracle では日本から来て現地で働いている日本人のエンジニアの方からお話を聞くことができた。そこでは語学力はあまり必要ないことを学んだ。なぜならアメリカでは語学よりもその人が持つ技術が重要であり、コミュニケーションを取るときも英語をうまく話すことよりも拙い英語でも積極的に話すことの方が重要だとお話しされていたからである。Fitbit では社長の熊谷さんからお話を聞くことができた。そこでは商品開発において顧客が真に望んでいるものを優先することが重要であること、失敗を恐れず挑戦することの2つを学んだ。

4.2 セミナー

セミナーでは ZenIT の設立者カンザダ・アミルさんと Saibouzu 副社長山田理さんからお話を聞いた。アミルさんのお話から人間関係の重要性を学んだ。それはやりたいことを見つけるには自発的に行動することが大事でそのための手段として人間同士のコミュニティが重要だとお話されていたからである。山田さんのお話からインターネット社会における働き方の変化について学ぶことができた。これはインターネットが登場する前と後では求められるスキルが異なるとお話しされていたからである。

5. 企業研修

5.1 研修先の企業

今回の研修では私は「Kawashima's Kitchen」にお世話になった。この会社の事業は日本食をメインにしたケータリングを行なっている。ケータリングとはイベントにおいて現地で調理をして食事を提供するサービスのことでアメリカではこれに加えて企業向けにランチやディナーを提供するサービスも行なっている。

5.2 研修内容

今回私が行なった研修内容は食事の配達の手伝いと翌日の依頼の仕込み、キッチンの清掃である。作業の流れとしてはまず食事の配達を直接企業に訪問して渡した後キッチンに戻り翌日の仕込みや清掃を行なった。今回配達には15社同行した。食事の配達について2種類があり1つはキッチンで用意したものを企業にお渡しする方法と2つ目は企業に訪問してラーメンを提供する方法である。今回はどちらも体験させてもらった。訪問した企業について印象に残った企業をいくつか紹介する。まず Google 本社に配達に行った。ここは Google の広告を担当していて食堂のあるキャンパスからは遠いためケータリングを利用しているとのことだった。ここでは日本人とヨーロッパ系の人が多く働いていた。そのため海外で働く日本人と直接会話する機会があり彼らは無理して嫌なことをやっておらずやりたいことを出来ていて Google にはその環境が整っているとおっしゃっていた。次に TOTO のイベントに配達に行った。私は配達の後食事の提供をその場でするためにイベントに参加した。このイベントは海外に進出した日系企業がどのようにすれば海外で成功することができるか、またそのために必要なことは何かをテーマにした講演会であった。日系企業はもちろん Apple や日本総領事館の副知事など様々な企業が参加していた。そこでも色々なお話をさせてもらう機会がありとても有意義な配達であった。

配達が終わったあとの翌日の仕込みや清掃について仕込みはいなり寿司の作成、足りない食材の補充、サラダの作成を行なった。清掃については床や

テーブルの掃除、食器洗いを行なった。

6. 企業研修を終えて

この研修を終えて様々な企業を訪問することができてよかったと思う。理由としては行った企業ごとに異なるオフィスや働き方があったことを見ることができたからである。また現地で働く日本人と話すことで海外で働くことのイメージをつかむことができた。この研修では毎日同じことの繰り返しだったため最初は何をしたらいいかわからなかったが研修が終わる頃には同じことの繰り返しなので自分で考え行動することができた。

7. おわりに

今回の全体の研修を通して日常的に英語を会話することの難しさを知った。これは相手の言っていることを聞き取ることができても言いたいことが日本語で出てきてしまいすぐに反応できなかったためである。次にセミナーや2週間の研修から海外での働き方はとても自由で会社はそのための環境整備をきちんとしていることがわかった。しかし同時に日本とは違い結果を重視する実力主義の社会であることもわかった。最後に初めての海外で不安なことが多くあったが色々な人と知り合ったり日本ではできない体験を経験することができて大変有意義な研修であった。この経験を生かして今後の生活を送ってみたいと思う。特に英会話は今回で出来ないことと出来ることがわかったのでより効率よく勉強できるだろう。また将来海外で働くために実践的な技術を身に付けたいと思う。